

偏頭痛患者のケア費用に対するオステオパシーマニピュレーション治療の影響

Erik Schabert & William Thomas Crow

J Am Osteopath Assoc. 2009; 109:403-407

抄録

背景：アメリカでは偏頭痛は有病率が高く、多大なヘルスケア支出の原因となっている。

目的：アロパシーファミリープラクティス研修医クリニックにおける非 OMT ケアと比較した際の、オステオパシーファミリープラクティス研修医クリニックにおけるオステオパシーマニピュレーション治療(OMT)が偏頭痛患者に対する治療の費用に影響を与えるかを調査すること。

方法：2002年7月1日から2007年6月30日までの期間における、フロリダ病院機構内の二つの研修医クリニックで偏頭痛を治療した患者の電子メディカル記録の後ろ向き研究である。うち一つのクリニックはオステオパシークリニックであり OMT サービスを提供し、もう一つはアロパシックスクリニックであり OMT は提供していない。来院の間の総費用ならびに処方薬の費用が各患者において集計された。また 2006 年ならびに 2007 年におけるオフィス来院の際に報告された患者の疼痛重症度評価もまた集計された。

結果：偏頭痛に関連した 1427 回の来院となる 631 人の患者の電子メディカル記録が分析された。各来院の平均費用はアロパシックスクリニックに対しオステオパシークリニックで約 50% 少なかった。(それぞれ \$363.84 vs \$195.63; $P < 0.01$)。この観察された相違は完全に各来院時に二つのクリニックにおいて処方された薬物数の平均によるものであり、オステオパシークリニックでは 0.696 であり、アロパシックスクリニックでは 1.285 であった ($P < 0.01$)。この処方数の違いがアロパシックスクリニックと比較した際のオステオパシークリニックにおける低い平均薬物費用となった(それぞれ \$284.93 vs \$106.94; $P < 0.01$)。オステオパシークリニックにおける対象患者はアロパシックスクリニックに比べ平均 5 歳若かった ($P, 0.01$)。患者による疼痛重症度の評価には二つのプラクティス間において統計上の相違はなかった。

結論：偏頭痛患者に対する治療養生法に OMT を含むことは治療養生法の費用を下げる可能性がある。しかし、これらの結果を確定する為にはさらなる研究が必要である。